

【開催レポート】1/29 コレクティブふくおか+ 実践プログラム⑦ プレゼンテーション

Collective Fukuoka Plus

コレクティブ ふくおか+

1/29(土)

15:00 - 18:00

📶 オンライン



インタビューや記事を書くことを通じて深まった社会課題の理解に基づいて、自分たちができるアクションを考え、各チームがメンターへプロジェクトの実施提案等を行います。

【開催レポート】実践プログラム⑦ プレゼンテーション

こんにちは！コレクティブふくおか+事務局です。

2022年1月29日、「コレクティブふくおか+」の実践プログラム⑦「プレゼンテーション」の開催レポートをお送りします。

プレゼンテーション

インタビューや記事を書くことを通じて深まった社会課題の理解に基づいて、自分たちができるアクションを考え、各チームがメンターへプロジェクトの実施提案等を行いました。

持続可能な環境づくりチーム

海岸に漂着しているゴミ問題の現状を知り、参加者がビーチクリーンをすることで海の現状を知ってもらい、自分事として捉えてもらうこと、また学生同士が大学を超えたつながりを持ち、一步を踏み出すきっかけづくりとして「ビーチクリーン×学生交流」を発表しました。

【チームメンバー】 ayane、ちーぱる、たーとる、こうけいまる、りんご

【メンター】 大神 弘太郎 さん（一般社団法人ふくおか FUN）

フードロスチーム

フードバンクの活動の現状を知り、貧困問題は報道されているよりも深刻で、「食べられない」ということが身近な問題として捉えられていないことがわかり、まずは問題を認識することがより食の貧困化を防ぐことができると考え、インスタグラムでフードロスの啓蒙活動をすることを発表しました。

【チームメンバー】 しゅん、Y、おさかな

【メンター】 岩崎 幹明 さん（特定非営利活動法人フードバンク福岡）

フラワーロスチーム

フラワーロス問題を仕組みから解決しようとしている CAVIN の取り組みを知り、消費者側の課題として、花を特別な日のみ購入するのではなく、日常的に購入したり、もっと身近な存在にしたいという想いが詰まったイベント『一輪しか売らない花屋』の開催することを発表しました。

【チームメンバー】 Otabana flower、ちえ

【メンター】 小松 祐也 さん（株式会社 CAVIN）

中高生の人生設計チーム

新規学卒就職者の早期離職率が高く、就活生には自己理解に関する悩みが多いことから、学生のうちに人生設計を明確にし、納得のいく就活活動をしてほしい。就職後にギャップに悩む人を減らしたいという想いから、中高生対象の「自己理解」をテーマとした企画を発表しました。

【チームメンバー】 ぞえ、くら、ミウサウルス、つっちー

【メンター】 園田 博美 さん（NPO 法人 FOCUS）

中高生の不登校（精神面）を支えるチーム

「なぜ、いじめや不登校が起こってしまうのか？」というような現状を理解し、少しでも中高生の不安を解消したいという想いで、子供と年齢の近い私たちだからこそ、子供の発言の真意や心情を伝えることができると考え、現状を把握するために保護者の悩みを知り、最も必要とされていることへのアプローチ方法を検討することを発表しました。

【チームメンバー】 あーたんさーたん、南蛮、Shunsuke

【メンター】 上村 一隆さん（NPO 法人 箱崎自由学舎 ESPERANZA）

仕事も子育ても大切にできる社会づくりチーム

人口動態、社会変化や育児交友の"気をつかう"問題、育児コミュニティなど子どもを取り巻く環境に課題があると考え、つながりを生むリアルな場所、きっかけ作りで支援の輪を広げるために、大人も子供も解放するフリースタイルカフェを発表しました。

【チームメンバー】 ゆうかす、おがしん

【メンター】 森島 孝さん（NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州）

子どもの居場所チーム

何らかの活動をしたいと思っている人たちが、資金面が理由で活動を始められないでいる背景を知り、気軽に相談できる場所やサポートがあると、活動を継続したり、活性化することができると考え、グラントライティングが学べる場をつくりたいことを発表しました。

【チームメンバー】 とみー、あめ

【メンター】 大野 徹さん（NPO 法人コードモテラス運営委員会）

目に見えない障害とユニバーサルデザインチーム

図書館では、支援機器はあるけれど利用されていないこと、障害を持っている当事者の声が反映されていないことや障害に関する正しい知識や現状が理解されていないことが課題と捉え、障害のある方の図書館利用を支援し、人と人を図書館で繋げる活動を発表しました。

【チームメンバー】 あや、ChanHina、umi

【メンター】 田中 美佳さん（一般社団法人 Togatherland）

身近な文化の発信チーム

福岡出身の若い世代は、意外と福岡市の文化の興味が薄いことに着目し、街の愛着を生むきっかけ作りとして、福岡市のまちを実際に歩く「まち歩き」を発表しました。

【メンバー】 はるこ

コロナ禍で視野が狭まり、世界の分断が進んでいることを懸念し、外の世界を知ることで、身近な物事を深く知るきっかけにしたいと考え、普段の生活や身近な文化が実は遠い中南米と繋がっていることを知ってもらうために、メキシコ・ラテンアメリカオンラインツアーを発表しました。

【メンバー】 OKAWARI KUN

子どもたちが自分の育った街「福岡」に興味を持ってもらうために、現在販売されていない福岡の歴史上の出来事を体験することができる絵本「のったよ！ふくおかタイムスリップ号」を復刻させるプロジェクトを発表しました。

【メンバー】 エポニーヌ

【メンター】 岩永 真一さん（特定非営利活動法人福岡テンジン・ユニバーシティ・ネットワーク）





参加者の声

ご参加いただいた方の声をご紹介します。

多くのグループのプレゼンを聞いて、正直頭の中がパンクしています笑これまでに関わったことのないような分野の方々のお話を聞くことができ非常に面白かったです。自分は、近くにフードバンク福岡があるので、ボランティアとして関わっていければと、今回のプレゼンを通して思いました。一緒にボランティアに参加しても OK という人募集です。

プレゼンお疲れ様でした！どのチームも熱がこもっていて、皆さんの人柄も楽しみながら話が聞けました。本当にどこも興味深い。そして、リアルでお話聞ければもっと楽しいんだろうなと思いました。フラワーロスや文化、子供の居場所などつながりを持って何か取り組みそうだなと思う内容もありました。

皆様、プレゼンお疲れ様でした！素敵な発表ばかりで、皆様の想い一つ一つがかけがえのないものであり、世界を良くしていく一步になると感じました！私自身の学びは、プレゼンをもっと積極的に経験し、少しでも人前でしゃべるとい苦手を克服したいと思うことが出来たことです。今回は、チームメンバーがプレゼン資料をまとめてくれたり、発表を担ってくれたり、私一人では出来ないことばかりで、『仲間』が居るって有難いなと感謝しています。

3月のフォローアップは、本日発表したアクションプランを各チームが実践し、実際にやってみて気づいたことなど進捗を共有します。また一般の方も聴講できるように、聴講者を募集しますので、改めてお知らせします。

また、各チームのフィールドワークの記事は、順次公開中です。ぜひご覧ください。